

# 事業評価調書

## ◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	37639	
事業名	外需獲得・海外展開支援費						
評価担当課	所属名	経)経済戦略推 産業立地・戦略					
	課長名	納	担当者名	西田・児玉	電話番号	211-2362	
施策名	主	世界の活力を取り込む国際戦略の積極展開					
	副						
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外		戦略ビジョン	● 対象 ○ 対象外			
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費						
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理						
事業内容	実施形態	○ 直営 ○ 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助助成 ● その他					
	目的	短期	環境・高齢者福祉産業等の海外展開の支援、覚書等の協定に基づく都市間連携による市内企業の海外展開支援及び外国人観光客向け商品開発の補助による市内での外国人消費の促進により、外需の獲得を図る。				
		長期	人口減少により国内の経済規模縮小が懸念される中、市内企業の海外展開の取り組みを支援することにより、経営基盤の強化・雇用の維持・拡大を図る。				
	取組内容	①都市間連携の推進:覚書や姉妹都市提携に基づき、海外都市の現地政府との連携を強化し、現地企業との経済交流を行うことで、市内中小企業の海外進出の機会を創出する。 ②環境等産業支援事業:北海道と連携のもと、環境・高齢者福祉産業等の海外展開を目的に海外企業とのオンライン商談会を実施。 ③観光商材開発支援事業:外国人観光客向けに新たな商品を開発し、国内での流通・提供を行う事業者に対して、商品開発・マーケティング等に係る費用を補助する。					
実施結果	①令和3年6月、経産局、北海道バイオ工業会とカリツオボとのオンライン会談を実施。同年12月、ノボシビルスク市と経済交流に係るMOUを締結。 ②令和3年12月に道内企業と中国、ASEAN企業とのオンライン商談会を開催。道内企26社、中国企業22社、ベトナム企業5社、タイ企業5社、シンガポール企業2社が参加し、合計51商談を行った。 ③5件採択(申請5件)						
事業実施における工夫点	商談の精度を高めるため、道内企業へのヒアリングを実施し、技術やノウハウの内容を詳細に把握するとともに、進出を検討している国・地域や、行政に対する要望など、企業ニーズを把握する。北海道や海外姉妹都市等、関係機関と連携し、効果的・効率的に事業を実施する。						
対象者	市内中小企業等			開始	平成27年度	終了	0年度
関連法令・条例・要綱等							
他都市の状況	②【環境等産業】川崎市では毎年、「川崎国際環境技術展」を開催。 ③【観光商材】福井県:県内を訪れる観光客に対する新たな土産品の商品開発および販路開拓を支援上限250万、8事業者程度)						

## ◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算	
事業費	8,938	21,000	10,814	9,200	
うち特定財源	0	2,650	2,360	2,650	
人工	1.1	1.1	0.0	1.1	
人件費	7,920	7,920	0	7,920	
計(事業費+人件費)	16,858	28,920	10,814	17,120	
事業費の内訳	令和3年度決算	②環境等産業:北海道・札幌市海外拠点連携協議会負担金 4,720千円 ③観光商材:観光商材開発支援補助金 3,775千円 審査委員会開催経費、販路開拓支援等 2,318千円			
	令和4年度予算	①都市間連携:委託料 2,500千円 旅費 900千円 ②環境等産業:北海道・札幌市海外拠点連携協議会負担金 5,300千円 旅費 500千円			

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	展示会、商談会参加企業数			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	18	20	26	10	
活動指標2	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
成果指標1	指標名	支援対象企業におけるプロジェクト着手件数(累計)			
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
	23	26	24	29	
成果指標2	指標名	観光商材開発支援事業で開発した商品の売上高(単位:千円)			
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
	41378	45000	44894	-	
項目	判定	理由			
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	①ノボシビルスク市との連携により、食、IT、バイオ分野での企業間交流を実施。今後の経済交流強化に繋がる流れを構築できた。 ②オンライン商談会に参加した市内企業が、越境ECにより販路を広げた。 ③企業により様々であるが、観光客激減の中で一定数販売実績が確保出来ている。			
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	①及び②は参加企業のニーズや商談結果を聴取しながら事業を進めており、コロナ禍により、想定していた渡航を伴う事業は実施できなかったものの、オンライン等を活用して現地と協力した事業を実施。 ③は、5社に対し上限1,000千円の補助を実施。商品開発や販路拡大のための適切な投資に活用されており妥当な水準。			
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	①北海道経産局等他機関との協力体制を確立し、効率的に事業を実施している。 ②道内企業や海外企業の募集から商談会実施、商談会後のフォローを、受託者及び現地にコネクションのある協力企業に委託しており、受託者の知見を有効に活かしている。 ③海外からの旅行者が激減する中、国内旅行者向けやECサイトでの商品開発支援を実施。時流に合わせた支援を行った。			
対象者の満足度 (対象者のニーズにしているか)	A	①ノボシビルスク市との連携により、市内企業の現地フォーラムへの参加や、オンラインでの企業間交流の機会を提供できた。 ②参加企業からは、商談機会提供や、自社商品や企業の価値向上に繋がる経験が出来たことに対する評価を得ている。 ③採択者により様々。			
市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 対象外		市民参加結果への対応	<input type="checkbox"/> 回答 <input type="checkbox"/> 反映	
今後の改善点	①②コロナ禍における海外の動向や市内企業の意向を踏まえ、海外の姉妹都市等との連携も深めながら、対象地域や事業分野を検討していく。 ③令和3年度をもって終了。				
前回の評価	● A    ○ B    ○ C    ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
今年度取り組んだ見直し内容	②より精度の高い商談を実現すべく、支援対象企業をあえて絞り込む予定。			見直し効果額 (前年度)	0千円
今回の評価	● A    ○ B    ○ C    ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
評価の理由	各事業とも、ニーズに応じ効率的・効果的に事業を実施できたため。				
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	<input type="checkbox"/> 改善    ● 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 ①姉妹都市との連携強化し、継続実施予定。 ②企業の海外展開支援の手法について、連携先の北海道庁と共に検討中。			
	予算	● 拡充    ○ 現状維持    ○ 縮小    ○ その他			見直し効果額
	①令和5年度は積極的に姉妹都市などの海外都市へ渡航、経済交流を実施し、予算要求額を10,000千円(委託料4,700千円、旅費3,300千円、負担金2,200)とする。				